

## 会 議 録

議事録名		部長	課長	企画幹	係長	係	記録
令和4年度佐久市保健福祉審議会 高齢者福祉部会							
日 時	令和4年8月22日	場 所	南棟3階 会議室		時 間	AM10:00～11:30	
出席者	小林委員、和田委員、野村委員、今牧委員、柳澤委員、 金箱委員			出席委員	6名		
				欠席委員	5名		
				事務局	7名		
提出資料	資料1-1 第四次佐久市地域福祉計画（骨子案） 資料1-2 第四次佐久市地域福祉計画〈部会ごとの審議対象〉 資料1-3 第四次佐久市地域福祉計画に関する市民アンケート報告書 資料1-4 第四次佐久市地域福祉計画の策定スケジュール 資料1-5 第四次佐久市地域福祉計画（骨子案）に係るご意見等						
<b>○次第</b> 1 開会 2 自己紹介 3 審議会・部会の概要説明 4 部会長選出（職務代理者指名） 5 会議事項 第四次佐久市地域福祉計画（骨子案）について その他 6 閉会							
<b>○議事録（質疑応答）</b>							
事務局	《資料1-1、基本項目「共に支え合う人づくり」について説明》						
小林職務代理者	日頃のお立場の中で日々関わっていることかもしれませんが、今、説明頂いた中でもいいですし、日頃感じていること、若しくは気づいたようなことがあれば、ご意見としてお出し頂ければありがたいと思いますが、いかがでしょうか。  気づいたことがあれば一言ずつお願いします。						
柳澤委員	日頃から感じていることですが、本当に人口減少をすごく感じています。私などもそうですが、退職してもまだ職場から65歳まで仕事の継続を頼まれるような状況で、もう自分の生活にも時間的に余裕がなくて、皆もそうではないでしょうか。とても理想なのですが、10年前の時代であれば、これ（計画）が実施できたかもしれないけれど、今はどうでしょうか。こういう風に（計画にあるように）人を集める事がものすごく大変です。世						

間で言う働けなくなった人達で、一緒になって働ける人がどれくらいいるかという事をいつも感じています。

自分も栄養士会の活動をする時に活動できる人がいなくて、実際にこの計画をやってくれる人がいるだろうかという気がします。

金箱委員

地域を支える人とか組織づくりの中で、日頃から民生委員の方等と連携を取りながら仕事をさせていただいておりますけれども、やはり資質向上のための色々な勉強会であったり、認知症の方を支える人材育成であったり、サポートセンターのリーダー育成等、勉強する場はありますが、私達、居宅介護の連携みたいなのが、大きな課題だと思っており、それぞれ知識等勉強しているところです。あと、私達ケアマネージャーと介護事業所との連携が進んでいけばいいと思いますけれど、どの様に連携、ネットワーク化するかというのが、今後の課題であると思っています。

あと、心に関してですけれども、以前はデイサービスや施設に、学生さん、小学生ですとかそういった方が色々お手伝いに来たりして、交流が図られていたのですが、今、コロナ禍で、そういった機会が全くなくなってしまって、若い子供達の心の育成みたいところが失われてきてしまうのかという不安があります。デイサービスに行くと、昔は一緒に歌を歌ったりとか、学校で練習してきたものを披露したりする場があったのですが、コロナで今全くなっているのが、高齢者や障がい者と子供達が交流する場がなくなっているのが、今後どういう風に影響していくのかと心配なところがあります。

今牧委員

私も地域の役員など何回かお受けしてやっていますが、なかなか周りの方に頼みづらいというような状況があり、薬剤師会の中で何か役員をお願いするという場合でも同じ様なことが起こっています。人を探すという事が非常に大変になってきているという事が、先ほどのお話と同じように感じるところがあります。それが、地域の中でも同じように起こっているのかと思うので、リーダー育成というのは、この時世なのでなかなか人が集まれないというところが一番大きいのかと思いますが、今はオンラインという方法も出てきておりますので、そういったものも含めまして、研修会の形等も色々作っていただければと思います。

あと、ここから若干私の感じている事で外れてしまうかもしれませんが、色々な委員さんが地域の方に色々声掛け等されていると思いますが、受け手側、高齢者側が自分はそういう対象ではないといった感覚を持っている方がいらっちゃって、「自分はもう全然関係ないです。」みたいな感じだと思います。例えば老人クラブ等がそうですが、なかなか声を掛けても入ってこない。集まりに出てきてくれる方は全然問題ないのですが、そうではない、本当に閉じ籠ってしまっている方に対して、この計画の中で、そういった方々をどう支えていくというような事が気にかかるので、色々な形で議論をしていってもらえればと感じています。

野村委員

歯科医師会とすれば、行政から依頼があれば、当然ですけれど協力をしたいと思う姿勢は変わらないのですけれども、こういった場で代表者として出席する中で、具体的に、歯科医師会に対してこのような形で要望があるので、こういった形で関わることができま  
すかという様な具体的な話があると、より協力体制がとれるのかと思います。

話は変わってしまうかもしれませんが、健康づくり推進課で、今は滞ってはしまっ  
てますが、佐久市民の集いみたいな形で、毎年イベントである程度協力できるような体制、  
組織づくりがもし可能であれば、1つ何か見えてくるのかというのがあります。

代表者も今年は僕ですが、来年は別の方であったりというと、単発で終わってしまっ  
て、協力はしたいが結局は何も話が進まないといったようなもどかしいところはありま  
す。結構しっかり計画を立てているので、もっと、それを具体的な依頼にして頂いて、も  
しあれば、受け身で申し訳ないですが、いい繋がりにできればという気持ちでいます。

小林職務  
代 理 者

和田委員に総括をお願いします。

和田委員

総括というほど立派なことではできませんが、私も感じるところは、皆さん意見を出され  
たところとほとんど一緒でございます。役や係をやってくれる人を探すのは大変という  
話もありますが、佐久市の高齢者の就業率とリンクする部分もあるかもしれません。昔で  
あれば 55 才若しくは 60 才の定年を過ぎたら、私の場合は介護の仕事なので、介護の仕  
事を続けるのはもう体力的にきびしいよというようなことでしたけれども、今は、様々な  
福祉機器や介護ロボットもそうですけれども、そういったものがかなり入ってきており  
まして、60 才を過ぎたとしても、今までと同じ仕事が続けられますよ、夜勤も早番もな  
んでもできますよという方がかなりの率で増えてきております。実際、うちの施設でも、  
60 才を過ぎても、フルタイムの夜勤、早出、全部こなして、普通の職員さんと一緒にや  
ってくれています。65 才位まではそのようにきて、65 才を過ぎてどうしますかという中  
で、例えば勤務時間や身体的な負担を減らして、もうちょっと働きたいです。もうここが  
私の居場所です。といった形で、事業所に残ってくださいます。70 才を過ぎても介護補  
助として残って下さる方が結構います。という事は、色々な地域活動において主力となる  
ような年代の方は事業所に残っているので（地域には）人がいない。仕事をしながら地域  
活動をやるというのも、バイタリティのある方であれば可能ですけれども、まず自分の仕  
事や生きがいもそうですが、それを含めて収入を得た上で、なおかつ、地域活動というの  
はなかなか厳しいのかなと思う部分もありますので、人もいないのでしょう。恐らくなか  
なか大変ではないかと思うところです。

あともう一つ、心の育成というところで、先ほど、保育園の園児さん、小学校の児童さ  
んが介護事業所でのサービス等と交流ができなくなっているというお話もありました。  
私どもの施設でも、毎年来られていた近くの保育園の園児さんや、小学校におきまして  
は、その学年のそのクラスの児童が 1 回来たら、なかなか好評で、今年中にまた来たい、  
もう 1 回だけではなくて、2 回でも 3 回でもという事で、1 年に 3、4 回、同じクラスの

同じ児童が来て、施設を訪問しながら、高齢者介護がどういったものか、当然、自宅ではおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んでいる子供さんもいますので、同じように接している形で施設にきて、そこで交流して楽しむで何とか、将来高齢になって、年を重ねて体が動かなくなるという事はどういう形で、どういう体の状態になるのか。そのためにどういった食事が必要なのか、介護が必要なのか、入浴形態が必要なのか等、そういったものを学習の機会として教えるというか勉強をしてもらうのですけれども、そういった時にそれぞれが感じるインパクトと言いますか、感動もそうですけれども、こうなっても大丈夫なんだというのが、そういった勉強をしてもらって、そこが多分好評であったのですが、やはりここ何年も続けていたものが、もう3年位、コロナになって全くできなくなってしまったというのは本当に残念で、これが一体いつになればまた再開できるのかという時も全く見通せない状況の中で、本当に早く収束してくれないかな、若しくは子供と共に、そういうこと気にせず交流をしながらいけるのはいつになるのかな、なんてことを、本当に心待ちにしているところです。

そういう中で、組織活動等はかなり難しいという部分がありますけれども、早く何とかなってほしいです。

小林職務  
代理者

ありがとうございました。いかがでしょうか。この様な感じで、それぞれ色々な思い、こういった立場の人間も含めて思うように述べて頂きました。

事務局

ありがとうございます。まさにこういったことを、こういった機会となることを我々は望んでいたところでありまして、今、我々の知らない状況も色々お伺いできたと思いました。

基本的には、今、ご意見を伺う中で、総論とすると、大きくこういった方向という事自体は、意味のあるというか重要という事で、皆さんも思っていていただく中で、どちらかというと人口減少やコロナ等を踏まえた具体的な取り組みをやる上で、それをしっかり考えた取り組みにつなげていければよいのかなという事をまず1つ大きく思いました。この後、素案の段階で、今日の意見を踏まえて、この様な取り組みで進めていきますというところで、またご確認を頂戴できるかと思えます。

後、若干の連携の課題であったりとか、困って知っている人をどうにかしないとならないのではという事であったり、さらに、生涯現役で勤めができるような状況、社会的状況の変化といったような部分について、この後の地域づくりといったところや、健康づくりといったところで、若干触れさせていただいているところもありますので、そちらでもご確認いただきながらご意見を頂きたいと思えます。

事務局

《資料1-1、基本項目「安心して暮らせる地域づくり」について説明》

小林職務  
代理者

今度は指名しませんので、ご意見あればお出しいただきたいと思えます。今説明頂いたのですが、ここですぐというのも難しいところがありますけれども、気づいたところがあ

<p>事務局</p> <p>小林職務 代 理 者</p>	<p>りましたらお出し頂きたいと思います。</p> <p>(意見なし)</p> <p>報告の用紙で出してもらおう形でいいですかね。</p> <p>改めて読んでいただく中で、そういった形でお願いします。</p> <p>では、次に進めてください。</p>
<p>事務局</p> <p>小林職務 代 理 者</p> <p>事務局</p>	<p>《資料 1-1、基本項目「生涯にわたる心とからだの健康づくり」について説明》</p> <p>今、説明頂きましたけれども、これについて気付いたこと、ご意見等ありましたらお出しいただきたい。</p> <p>(意見なし)</p> <p>よろしいですかね。先ほど申し上げたように、意見を記入する用紙がありますので、もし再度お読み頂いて、今日の説明も踏まえてですけれども、気がついた事等ありましたら、9月2日までにお出しを頂きたいと、そのようなことでよろしいですかね。</p> <p>ありがとうございます。そのような形でご意見について改めてお寄せ頂ければ、大変ありがたいと思います。</p>
<p>事務局</p> <p>小林職務 代 理 者</p> <p>柳澤委員</p> <p>事務局</p> <p>小林職務 代 理 者</p> <p>事務局</p>	<p>《資料 1-3、資料 1-4、資料 1-5 に関する説明》</p> <p>ありがとうございます。それでは第4次佐久市地域福祉計画骨子案については以上とします。続きまして、その他ですが、委員の皆さんから何かありましたらお出しいただきたいと思います。</p> <p>意見はメールではなくて、封筒に入れて提出するのでしょうか。</p> <p>メールでも結構です。メールアドレスについて、今日お示ししておりませんでしたので、改めてお知らせさせていただきます。</p> <p>よろしいですか。では、事務局から何かありますか。</p> <p>今後の予定について、先ほど申し上げさせていただいたところがございますけれども、10月の下旬に次の部会を開催させていただく予定という事がございます。予め1か月程度前に開催のご案内を申し上げます。また、コロナの状況で、若干の変更はあるかもしれ</p>

ませんが、基本的には感染対策をしっかりとった中で、一堂に会してご意見を頂戴できる場というものをできるだけ設けてまいりたいと思っておりますので、その節はどうぞよろしく願いいたします。

小林職務  
代 理 者

他はよろしいですか。

以上で本日の会議事項を全て終了いたしました。これで議長を退任させていただきます。議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

(閉会)